

# 物価高騰の中 国民健康保険税 人/5000円×5年間 引上げ

区分	現行	引上後	増額	
基礎課税額	所得割	5.70%	6%	
	均等割	24,600	26,700	2,100
	平等割	17,600	18,000	400
後期高齢分	所得割	1.90%	2%	
	均等割	9,500	9,700	200
	平等割	6,600	6,600	
介護分	所得割	1.50%	1.80%	
	均等割	9,300	10,600	1,300
	平等割	4,800	5,400	600
人/均等割 世帯/平等割の年間引上分			4,600	
40歳未満は介護分はありません				
※課税限度額も102万円→104万円に引上げ				

**軍事費よりも国保税引下げを**  
岸田内閣のもと今後5年間で43兆円の軍事費増強、「戦争国家づくり」が進行しています。その一方で、弱者への負担強化、医療費や介護などの社会保障削減が進んでいます。碧南市では、2月7日国民健康保険運営委員協議会が開かれ、2023年度の国保会計の予算案が示されました。昨年11月14日の運営協議会で引上げ案が論議されています。

**審議会で反対意見です**  
11月14日の審議会では「私はアルバイトをしながら生活をしています。最近はいり物に行くと本当に物価高の影響を感じています。それに合わせて、保険料の値上げというところで、非常に生活が苦しくなることが目に見えています。税率改正を行わざるを得ないことがよくわかりましたが、なるべく市民の負担を軽減するような方法を模索して行けたらという気持ちが強くなりますので、今後よろしくお願います」との発言がありました。今回は公募委員から「市民への周知は」と発言

年齢	人数	金額（円）
0-4歳	236	8,590,400
5-9歳	294	10,701,600
10-14歳	359	13,067,600
15-19歳	427	15,542,800
合計	1316	47,902,400
均等割額 = 36,400円		

要してきました。国保は、加入者は低所得や高齢者が多くです。日本共産党は一般会計からの繰り入れを7600万円増額すれば、引上げなくともすむと考えます。

があっただけで、値上げに対する異論、反対もなく終わりました。

**7600万円の繰り入れを**  
今回の引き上げ案は、基礎課税額・後期分・介護分合わせて、所得割率0.7%増。均等割は3,600円。平等割は1,000円引き上がり。総額は7,600万円の負担増となります。そして課税限度額も102万円を104万円に引き上げることが国会で決まります。5年間で県の「標準保険税額」にするとし、すでに2年間引き上げ、今後令和8年まで、3年間の引き上げで2億6500万円増額するものです。1人約2万円の引き上げに、物価高騰と年金引下、農家の肥料高騰、自営業者の収入激減の元「どうやって暮らせばいいのか」悲鳴が上がっています。

**他保険のように子ども均等割なくせ**  
碧南市の国保会計ではここ数年、黒字が出ると一般会計からの繰り入れを減らし、基金ほぼゼロになるまで「会計独立」を強



また国保は、社保や健保にはない家族子どもの保険税も均等割や世帯平等割で徴収しています。全国知事会も「国が1兆円を出して他の保険並みに均等割や平等割をなくせ」と運動しています。

2022年度から、未就学児の均等割を半額軽減が実現し、684万7千円が、国県市から出されています。

日本共産党は市の子育て施策として18歳までの国保加入者の均等割3万4100円（引上げ後は3万6400円）で2,300円増をなくすことを求めています。

対象人数は「へきなんの国保」の冊子に掲載している19歳まででも1,316人金額は4790万2400円で可能です。

スポーツ基金に2023年度1億円。財政力は不交付団体。大企業には最低税率の法人税で年間6億円前後大負けにしている碧南市にできないはずはありません。

**統一協会容認、弱者に冷たい市政を変えよう**  
人権を踏みじり、洗脳して億単位の献金や、法外な霊感商法を行う統一協会。唯一、この統一協会に決別も表明せず、容認発言をするねぎた市長。このような感覚では苦しむ市民の痛みは届きません。

市民の願い、くるくるバス1時間毎にもソッポ。18歳までの医療費完全無料化。学校給食の無料化など、市民に寄り添う市政に、みんなの力で変えましょう。

# 愛知知事選挙結果 革新県政の会が声明



▽尾形慶子 無所属・新 25万1263票

▽大村秀章 無所属・現 当選 145万2648票

▽末永 啓 無所属・新 13万374票

▽山下俊輔 諸派・新 12万3940票

▽上原俊介 無所属・新 10万3883票

▽安江 朗 無所属・新 8万8981票

## 尾形けいこ候補が健闘 みなさんのご支援に感謝します

2023年2月7日 革新県政の会

2月5日投開票の愛知県知事選挙で、革新県政の会も参加した「みんなで創る安心の未来」から立候補した、尾形けいこ候補は、勝利できませんでしたが、健闘しました。

【選挙結果】 投票率 36.43%

尾形けいこ 251,263票 (得票率 11.68%)

当 大村 秀章 1,452,648票 (得票率 67.53%)

## 広がった共同の輪

今回の知事選挙は、6人の候補者が乱立するなか、広範な市民と野党が共闘した尾形候補と、現職の大村氏を支えるオール与党の対決の構図となりました。市民運動に参加する個人と革新県政の会が尾形候補の選挙母体「みんなで創る安心の未来」を結成しました。尾形候補は、政党では日本共産党と緑の党グリーンズジャパンが推薦、社民党と新社会党が支持し、れいわ新選組代表山本太郎氏が個人推薦、団体では市民がつながる会・愛知7区、だらっと憲法カフェなどから推薦を受け、原発ゼロ、設楽ダムの建設中止を求める会、老朽原発40年廃炉訴訟などに取り組む多くの市民から支援が得られました。

## SNS拡散で



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

## 日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長  
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

午前11時〜12時  
東浦町6-17  
ピアゴ碧南東店  
(日進小学校南)

2月19日 (日曜日)

戦争法廃止改憲許すな  
へきなん 19行動

## 公約実現へさらに

今回、「みんなで創る安心の未来」に参加して県知事選挙をたたかったことは、新たなつながりと運動の発展の可能性を示したと考えます。革新県政の会は、今回の選挙で大きな要求となった課題の実現をめざし、引き続き奮闘することを決意します。

「みんなで創る安心の未来」は、SNSチームをつくり、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ティックトックのツールを活用して若者にも尾形候補の政策を伝え、行動を紹介することにチャレンジしました。

## 政策・争点うきぼりに

革新県政の会は、コロナ禍や物価高から県民のいのち暮らしを第一にする県政の実現、軍拡と増税をすすめる岸田自公政権に審判を下す重要な選挙と位置づけました。尾形候補との懇談を通じて、各団体の要求と現場の実態を知らせ、保育の定数改善、医療、ケア労働の処遇改善、教師の確保、消費税減税、インボイス制度反対、憲法を生かした平和外交など知事選挙の重点政策に押し上げました。また学習資料・動画、シールアンケートなどで知事選挙の意義や要求について関心を高めることを重視して取り組んできました。

## 気候危機、賃上げ、ジェンダーに共感

尾形候補は「ストップ気候危機・ジェンダー平等・安心の未来」をスローガンに、「県民の明日の未来に必要な政策は何か」を問い、「光熱費ゼロ住宅など脱炭素産業NO1の県政を実現して雇用を増やし、愛知の豊かな財政を医療、教育、子育ての充実に使う」「知事として政府に最賃引き上げをきっぱり要求する」の訴えや、「女性はすでに頑張っており、適正な評価で賃上げなど処遇の改善を」の訴えは多くの労働者や県民の共感を広げました。この尾形候補の訴えは、県政のあり方に一石を投じるものとなりました。

## 大村候補30万減票

大村候補は、産業首都あいち、リニア大交流圏、ジブリパークを前面にアピールしました。連合愛知と自民県連、公明、立憲民主、国民民主の推薦を受けて「圧勝」という結果になりましたが、前回の得票177万から30万票以上減りました。一方で、投票率は前回の35.51%から微増という結果におわり、尾形候補の魅力を広範な県民に伝える点で力不足だったことを指摘せざるを得ません。また、県民の政治不信がなお大きいことも明らかになりました。

